

14社16人に感謝状贈呈

▽森林土木
▽(株)新谷組・横山博一氏
(令和3年度森林基幹道京極線東奈井江工区開設工事)「徹底した安全管理と適切な工程管理、品質管理を行い、事故や災害もなく早期完成させた。また、既存林道の草刈りなど積極的な社会貢献活動を行い、高い評価を得た」
▽及川産業・伊藤俊哉氏
(令和4年度温泉地先復旧治山工事)「山腹斜面での難しい工事だったが、事故や災害もなく早期完成させた。また、CO2排出削減に向けた「ゼロカーボン」の取り組みなど、高い評価を得た」
▽農業土木委託
▽北海道調査補償(株)・久々江佳史氏(令和3年度経営体豊草第2地区調査設計1)「5つの多工種、また換地を伴う設計業務だったが、地域の要望に対し最適な設計を提案することにも、関連する他の4業務との連絡調整を積極的に行い、設計内容の統一性を図った」
▽(株)本山測量設計・桜井孝之氏(令和3年度経営体西幌地区用地測量1)「事業工程上、やむを得ず工事と測量作業が重複する状況だったが、緻密な測量計画によって業務を遂行。複雑な境界確定においても地権者との調整に努め高い評価を得た」
▽(株)イーエス総合研究所・佐々木正人氏(令和3年度経営体東岩山西入外1地区調査2)



贈呈式で記念撮影に臨む森林土木工事・委託の優秀技術者

調査2)「整地工と水路の工事での環境測定調査を行うもので、長期にわたる業務であったが、施工業者への指導や地域住民への丁寧な対応について高い評価を得た」
▽(株)高崎・若松潔氏(令和4年度経営体高島東地区調査1)「権利関係者5戸、調査対象物件が21棟ある環境影響調査の業務だったが、関係者ならびに関連工事との連携を密に行った結果、事後調査の申し出や苦情もなく、関連工事を無事完了した」
▽森林土木委託
▽防災地質工業(株)・小原淳一氏(令和4年度レースイ地区緊急予防治山委託業務)

地区緊急予防治山委託業務)「高い専門知識と優れた技術力を発揮し、現場条件等を踏まえ事業の目的に則した全体計画策定を提案。品質の高い優れた成果品を納品し、事故もなく業務を完了させた」

▽(株)ノース技研・渡辺潤氏
(令和3年度幹線林道ホンスベツ線ほか1路線橋梁補修計画委託業務)「道有林内の橋梁施設の補修計画を策定する業務。高い専門知識と優れた技術力を発揮し、業務目的に則した補修計画を提案することにも、品質の高い優れた成果品を納品した。」

本社社屋

▲農業土木委託(技術資料作成)
令和4年度経営体高島東地区調査1

株式会社 高崎
代表取締役 菊地 満
札幌市北区新川12条2丁目12-27
管理技術者 若松 潔

社内業務風景

▲農業土木委託(土木設計)
令和3年度経営体豊草第2地区調査設計1

北海道調査補償株式会社
代表取締役 佐藤 直志
岩見沢市9条西15丁目2番地8
管理技術者 久々江 佳史

本社社屋

▲農業土木委託(測量)
令和3年度経営体西幌地区用地測量1

株式会社 本山測量設計
代表取締役 本山 博司
岩見沢市7条東5丁目5番地
管理技術者 桜井 孝之

本社社屋

▲農業土木委託(技術資料作成)
令和3年度経営体東岩山西入外1地区調査2

株式会社 イーエス総合研究所
代表取締役社長 伊藤 幸一
札幌市東区中沼西5条1丁目8番1号
管理技術者 佐々木 正人

本社社屋

▲農業土木委託(地質調査)
令和4年度農地防災立ため池1地区地質調査1

上山試錐工業株式会社
代表取締役社長 上山 弘
札幌市中央区北2条東13丁目1番地の7
管理技術者 加地 真

本社社屋

▲森林土木委託(治山事業)
令和4年度レースイ地区緊急予防治山委託業務

防災地質工業株式会社
代表取締役 雨宮 和夫
札幌市北区新琴似7条15丁目6-22
管理技術者 小原 淳一

本社社屋

▲森林土木委託(林道事業)
令和3年度幹線林道ホンスベツ線ほか1路線橋梁補修計画委託業務

株式会社 ノース技研
代表取締役社長 布村 重樹
函館市昭和3丁目23-1
管理技術者 渡辺 潤

各企業等の社会貢献活動

三笠市教委から感謝状

岩田地崎 三笠小除排雪で

【岩見沢発】岩田地崎建設(札幌・岩田圭剛社長)は24日、三笠市教育委員会から感謝状を受け取った。

市立三笠小学校で行った除排雪活動に対するもの。この日、市教委を訪れた

佐藤貴尚土木本部副本部長らに高森裕司教育長が感謝状を手交した。左から高森教育長、佐藤副本部長、笹淵現場代理人

渡した。札幌開闢建設「幾春別川総合開発事業の内三笠ほんべつダム堤体基礎掘削外工事」(笹淵友春現場代理人)を施工する同社は、工事でお世話になっている地域への貢献活動として同校駐車場敷地内の除排雪を行うことにした。

活動は卒業式前の2月28日に実施。現場作業所から職員ら7人がタイヤショベル、バックホを動員して駐車場の除排雪作業に当たった。また、設置されていたスノーボールが破損していた

岩見沢美園小から感謝状

丸庭佐藤建設 雪山造成

【岩見沢発】(株)丸庭佐藤建設(本社・岩見沢・本店・三笠、南部真樹社長)は24日、岩見沢市立美園小学校から感謝状を受け取った。

同校のグラウンドにスキー学習を行う雪山を造成したことに対するもの。南部社長は「子どもたちがものづくりに興味を持つきっかけとなれば」と話した。同社は地域貢献活動の一環として、様々な取組を展開。学校教育活動への支援では、地域の児童生徒が快適に過ごせるように校地内

やグラウンドを除雪するなどの環境整備を実施している。同校では例年、グラウンドに降り積もった大量の雪を活用して雪山を造成。10年にもわたる継続的に支援を行っている。この日は南部社長らが同校を訪ね、西村校長(右)と話を交わした。西村校長は、スキー学習や学年レクリエーションなどで活用していることを説明。「子どもたちはとても喜んでいて。長年にわたって学習活動を支援していただき、ありがとうございます」と述べ、南部社長は「この取組がきっかけで、ものづくりに興味を持ってもらえるとうれしい。引き続き教育活動を支援していく」と話した。

この日は南部社長らが同校を訪ね、西村校長(右)と話を交わした。西村校長は、スキー学習や学年レクリエーションなどで活用していることを説明。「子どもたちはとても喜んでいて。長年にわたって学習活動を支援していただき、ありがとうございます」と述べ、南部社長は「この取組がきっかけで、ものづくりに興味を持ってもらえるとうれしい。引き続き教育活動を支援していく」と話した。